

世界そのものの構造に求めて、個人の多種多様性と個人の相互斷絶獨存性を取出し、結局世界構造の廣さと深さとが斯かるものを將來したののであるとして倫理的世界觀を説くに留まる。然し倫理的世界觀は宗教的世界觀によつて眞に全きを得るのではないか。倫理的行は宗教的信によつて眞に祝福を獲るのではないか。

本書が近來稀な快著として廣く一般に讀まれむことを評者は特に祈るものである。(大阪大同書院菊判三四二頁定價貳圓八拾錢)

寄贈圖書

稻富榮次郎著	無と直觀	東京理想社出版部
稻富榮次郎著	スピノザの哲學	東京理想社出版部
山口諭助著	空と辨證法	東京理想社出版部
早稻田大學編	哲學年誌第九卷	東京理想社出版部
平田内藏吉著	坐の硏究	東京理想社出版部

寄贈雜誌

十一月號 史林	哲學雜誌、思想、理想、文化、丁酉倫理講演集、法學論叢、經濟論叢、法學、一橋論叢、學校教育、信濃教育、精神科學(特輯事勢と國民教育)、哲學評論、社會學、徒國民醫學、全人、願想、學藝展望、湖畔の聲、禪學研究、書滲、文化日本、國民思想	東京理想社出版部
---------	--	----------

前號目次

國家的存在の論理(承前)	文學博士 田邊 元
三願轉入に就いて	文學士 武内義範
科學の價值と本質	文學士 カール・ヤスパース
行為の表現的性格	文學士 柳田謙十郎
——木村素衛著「表現愛」に就いて——	
高坂正顯著「カント」	文學士 谷山隆夫